

株主の皆様へ

80th ANNIVERSARY
AICHI ELECTRIC CO., LTD.

第 **113** 期 報 告 書

2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日

確かな技術で未来をひらく
— 変革と挑戦 —



 **愛知電機株式会社**
AICHI ELECTRIC CO., LTD.

証券コード：6623



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第113期の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

事業の概況

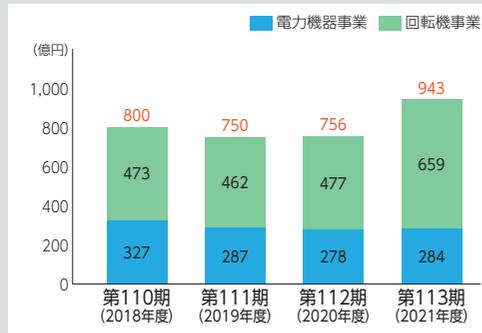
当期におけるわが国経済は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染再拡大やウクライナ情勢により世界的なサプライチェーンの混乱や資源価格の高騰などの影響がでており、先行き不透明な状況となっています。当社グループにおきましては、半導体・電子部品の調達難や原材料価格の高騰の影響を受けましたが、電動車の普及拡大や電子機器産業の活況を受け、事業環境は

期を通じて良好に推移しました。

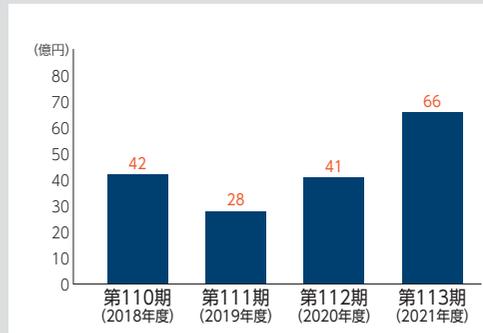
こうした状況下、創立80周年を迎えた当期は、「中期経営計画2023～確かな技術で未来をひらく～変革と挑戦」で掲げた新製品・新事業への挑戦と既存事業の競争力強化に取組みました。電力機器事業では、配電系統高度化製品の開発や新エネルギー関連の市場開拓、一般産業向け製品の拡販を進める一方、工場リニューアルやTPSかいぜん活動、品質抜本改革活動など、QCD（品質、コスト、納期）強化の取組みを進めました。回転機事業では、車載空調圧縮機用モータやパッケージ基板用コアの需要拡大に対応すべく生産設備増強を進めるとともに、新規・代替調達先の開拓による部品・材料の確保に努めてきました。

当期の連結業績につきましては、回転機事業が好調に推移したことにより、前

売上高 943億円



営業利益 66億円



期比で増収増益となりました。売上高は前期比24.8%増の943億8千1百万円、営業利益は59.5%増の66億6千7百万円、経常利益は67.7%増の79億6千6百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は66.7%増の55億6千4百万円となりました。

配当について

期末の配当金につきましては、創立80周年の記念配当35円を加え、1株につき100円とさせていただきます。これにより、中間配当金を加えました通期の配当金は、1株につき150円となります。

今後の見通し

当社グループを取巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染再拡大の影響やウ

クライナ情勢による資源価格高騰、送配電会社の託送コスト抑制による競争激化などが懸念されますが、電動車の普及加速や再生可能エネルギーの導入促進、半導体市場の高成長により、車載空調圧縮機用モータや配電系統高度化機器、パッケージ基板用コアなどの分野では需要の伸びが見込まれます。当社グループとしましては、引き続きQCD向上による一層の競争力強化に努めるとともに、成長分野への積極投資を進めることで、持続的な事業の成長を目指してまいります。

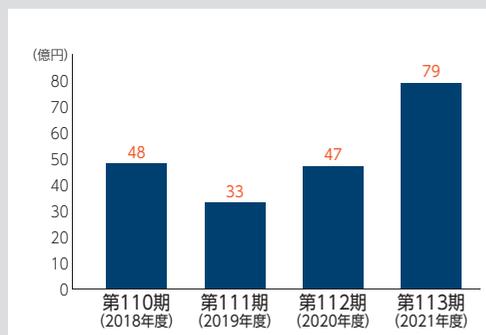
株主の皆様におかれましては、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

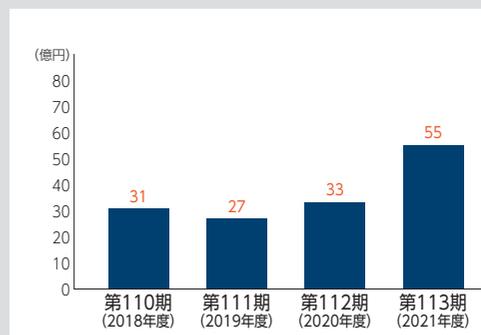
代表取締役社長

小林和郎

経常利益 79億円



親会社株主に帰属する当期純利益 55億円



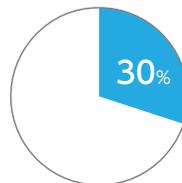
事業別の概況

■電力機器事業 売上高284億円

事業内容

各種変圧器、保護制御装置、再生可能エネルギー関連装置などの電力機器と粉体混合機、温水ボイラなどの産業機器の設計・製造・販売ならびに国内外の受変電用プラント工事の設計・施工を行っています。

売上高構成比



当期の概況

売上高は前期比2.0%増の284億1千万円、セグメント利益は前期比16.9%減の29億6千1百万円となりました。制御機器が減少したものの、小型変圧器が好調に推移したことにより、売上高は前期並みとなりました。セグメント利益は材料高騰の影響を受け、減益となりました。

売上高推移(億円)



主要製品



柱上変圧器



トッランナー変圧器



自動電圧調整器



負荷時タップ切換変圧器



デジタル式
監視・保護制御装置



パワーコンディショナ



粉体混合機



温水ボイラ



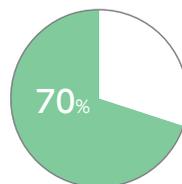
受変電用プラント工事

■ 回転機事業 売上高659億円

事業内容

空調圧縮機用ハーメティックモータ等の各種小型モータ、プリント配線板、電動ベッド用アクチエータ、シャッター開閉機など身近で活躍する製品を社会に提供しています。

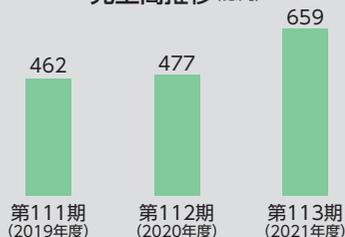
売上高構成比



当期の概況

売上高は前期比38.1%増の659億7千1百万円、セグメント利益は前期比139.4%増の54億8千9百万円となりました。車載・建物空調圧縮機用モータやパッケージ基板用コアなどが全般的に好調に推移したことにより、大幅な増収増益となりました。

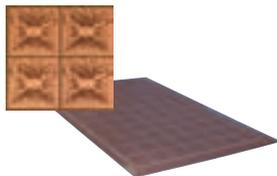
売上高推移(億円)



主要製品



空調圧縮機用
ハーメティックモータ



プリント配線板



アクチエータ
アクチエータ用駆動制御装置



水中ポンプモータ



シャッター開閉機



畜舎用換気扇



インバータ

連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	当期末	前期末	負債純資産の部	当期末	前期末
	2022年3月31日現在	2021年3月31日現在		2022年3月31日現在	2021年3月31日現在
流動資産	74,179	65,078	負債の部		
固定資産	36,124	31,117	流動負債	37,027	29,516
有形固定資産	24,988	19,968	固定負債	9,768	9,190
無形固定資産	509	368	負債合計	46,796	38,707
投資その他の資産	10,626	10,780	純資産の部		
			株主資本	59,439	54,805
			その他の包括利益累計額	2,790	1,528
			非支配株主持分	1,278	1,154
			純資産合計	63,508	57,488
資産合計	110,304	96,196	負債純資産合計	110,304	96,196

連結損益計算書

(単位:百万円)

	当 期	前 期
	2021年4月1日から 2022年3月31日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで
売上高	94,381	75,619
売上原価	79,612	64,510
売上総利益	14,768	11,109
販売費及び一般管理費	8,100	6,929
営業利益	6,667	4,179
営業外収益	1,466	837
営業外費用	166	265
経常利益	7,966	4,751
特別利益	34	67
特別損失	148	43
税金等調整前当期純利益	7,853	4,775
法人税、住民税及び事業税	2,231	1,723
法人税等調整額	65	△ 324
当期純利益	5,557	3,376
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△ 7	38
親会社株主に帰属する当期純利益	5,564	3,338

個別貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	当期末	前期末	負債純資産の部	当期末	前期末
	2022年3月31日現在	2021年3月31日現在		2022年3月31日現在	2021年3月31日現在
流動資産	41,509	40,240	負債の部		
固定資産	27,045	25,813	流動負債	17,573	15,669
有形固定資産	8,916	8,599	固定負債	3,923	5,414
無形固定資産	70	68	負債合計	21,496	21,084
投資その他の資産	18,058	17,145	純資産の部		
			株主資本	46,031	43,707
			評価・換算差額等	1,026	1,262
			純資産合計	47,058	44,969
資産合計	68,555	66,054	負債純資産合計	68,555	66,054

個別損益計算書

(単位:百万円)

	当 期	前 期
	2021年4月1日から 2022年3月31日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで
売上高	52,115	46,295
売上原価	43,745	39,270
売上総利益	8,369	7,025
販売費及び一般管理費	4,741	4,355
営業利益	3,627	2,670
営業外収益	989	782
営業外費用	67	68
経常利益	4,550	3,384
特別利益	55	3,327
特別損失	81	3
税引前当期純利益	4,523	6,708
法人税、住民税及び事業税	1,164	1,128
法人税等調整額	103	△ 189
当期純利益	3,255	5,770

創立80周年を迎えて

当社は本年創立80周年を迎えました。これまでの株主の皆様からのご理解とご支援に改めて感謝申し上げます。

1942年の創立以来、技術へのこだわりと、ものづくりへの情熱を伝承し、「積極経営、技術錬磨、人間尊重」の経営基本方針を掲げ、高品質の電気を安定供給するための変圧器や制御機器、快適な生活をサポートするためのモータやプリント配線板などの製品を開発・提供してまいりました。

1942年

「愛知電機再生工場」誕生

太平洋戦争で物資が欠乏する中、故障したり廃品となった変圧器や電動機の修理を通じて社会に尽くそうと、川口将一氏が創立した。



1947年

新品の柱上変圧器の製造開始

戦後の混乱期から安定期へと移行するにつれ、変圧器の需要が増大するを見越して、1947年に新品の製造を開始した。



1949年に製造された鋳物タンクの柱上変圧器

1957年

モータ事業開始

1955年日本生産性本部の米国視察団に参加した川口将一氏が、現地の電化製品の普及率に感嘆し、日本での小型モータの将来性を見越してモータ事業に着手した。



1957年に完成したコンタンサモータの1号機

1973年

275kV級の大型変圧器工場を建設

1970年、オーストリアのエリン・ウニオン社と技術援助契約を締結。高電圧・大容量の変圧器(77kVから154kVの高電圧クラス)の技術提携が実現し、1973年電圧275kV級まで製造可能な大型変圧器工場を建設した。



1942

1950

1960

1970

1980

1952年

制御機器事業の始まり

直流搬送方式による積算電力計切換装置を開発し、1953年に中部電力(株)殿へ約50セット納入し制御機器事業が始まった。

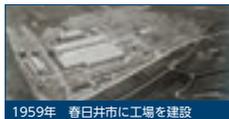


1952年に開発した直流搬送制御装置

1961年

春日井市に工場集約

生産性向上のため、1957年春日井市(現本店所在地)に約5万坪の土地を購入し、工場を1カ所に集め大規模工場を建設した。第1期工事落成直後に伊勢湾台風の影響を受けたが、それを乗り越えて1961年工場集中化を遂げた。



1959年 春日井市に工場を建設

1964年

米国エマソン社と技術提携

冷蔵庫やエアコンの急激な普及に対処するため、エマソン・エレクトリック社と合弁会社「アイチーエマソン電機(株)」を設立した。



エマソン・エレクトリック社の100年史の記述：「初期の合併企業の一つに、愛知電機との合併で1964年設立のアイチーエマソン電機(株)がある・・・」

そして、20年後の創立100周年を目指して、中期経営理念である「よい物を創る、よい人を創る、よい関係を創る、価値ある会社」のもと、会社を更に発展させ、全てのステークホルダーの皆様に、多様な価値を提供してまいります。

100年企業へ

2022年
創立80周年

2005年～2020年

モータ事業の中国進出

- 2005年 蘇州愛知科技有限公司を設立。
- 2011年 蘇州愛知高斯電機有限公司を設立。
- 2020年 広州愛知電機有限公司を設立。

1992年

本社ビル竣工



2006年～2011年

変圧器工場・制御機器工場の 新生産ライン構築

- 2006年 柱上変圧器の新生産ライン構築。
- 2008年 中型変圧器の新生産ライン構築。
- 2009年 大型変圧器の新生産ライン構築。
- 2011年 制御機器の新生産ライン構築。



制御機器工場の新生産ライン

1990 2000 2010 2020

1986年

商号変更

「(株)愛知電機工作所」から「愛知電機(株)」へ商号変更した。また、企業カラーをロイヤルブルーとし、社名ロゴを変更するなど企業イメージを刷新した。また、決算期も5月31日から3月31日に変更した。

 **愛知電機株式会社**

1993年

アクチエータの量産開始

フランスDCモータ技術を保有する当社にパラマウントベッド(株)殿から駆動装置の開発依頼を受け、1993年ギヤードモータの量産を開始。1995年病院ベッド用駆動装置としてアクチエータの量産を開始した。



1993年に量産開始した在宅介護ベッド用ギヤードモータなど一式

2017年～2020年

グループ会社再編

- 2017年 愛電商事(株)を吸収合併。
- 2020年 アイチエレクト(株)(旧アイチエマソン電機(株))を吸収合併。
- 2020年 白鳥アイチエレクト(株)が恵那愛知電機(株)を吸収合併し、白鳥恵那愛知電機(株)に商号変更。

電力機器事業

低圧配電線用乾式バルンサの開発

絶縁油を使用しないバルンサを開発しました。

バルンサは、低圧配電線路で、電圧の不平衡を改善するために設置されています。

従来の絶縁油を用いたバルンサは、タンクの発錆等による漏油のリスクがありました。これを解消するため、絶縁油の代わりにウレタン樹脂を充填しました。この樹脂を硬化させて、液漏れのリスクをなくしました。

また、電柱への取り付け方を改良し、作業性の改善、取り付け時の部品落下防止をはかりました。

今後も、電力の安定供給に役立つ製品を開発していきます。



電力機器事業

新型粉体混合機の開発

水洗いできる防水性と耐蝕性を備えた1000ℓタイプの粉体混合機を開発しました。

今回開発した製品は、装置本体を水洗いしたいという顧客からのニーズに応えました。加えて、部品点数の削減と機種標準化により低価格を実現しました。また、容器の傾斜角度を従来より大きくしました。これにより、容器上部から材料投入し、下部から排出しやすくし、作業性の向上をはかりました。

粉体混合機は、医薬品業界や食品業界など多くの分野で使用されています。

今後も、顧客ニーズを的確に捉えた製品を開発していきます。



新型粉体混合機

回転機事業

蘇州愛知高斯電機有限公司 創立10周年

蘇州愛知高斯電機有限公司（中国の連結子会社）が創立10周年を迎えました。

同社は、車載空調圧縮機用モータの中国での生産拠点です。世界的な電動車の普及拡大を背景に、順調に事業を拡大しています。2021年度には新工場が本格的に稼働し、生産能力が増しました。

今後も、電動車の市場拡大が見込まれる中、更なる事業の発展を目指していきます。



新工場の全景

■会社概要 (2022年3月31日現在)

愛知電機株式会社 AICHI ELECTRIC CO., LTD.

設立年月日 1942年5月27日
 資本金 40億53百万円
 従業員数 1,071名 (連結：2,676名)
 本社所在地 〒486-8666
 愛知県春日井市愛知町1番地
 電話 0568-31-1111

■役員の状況 (2022年6月29日現在)

代表取締役社長 小林和郎
 常務取締役 宮川利之
 常務取締役 加藤忍
 取締役 山下直治
 取締役 田島久嗣
 取締役 垣原正樹
 取締役 須田芳和
 取締役 横手幸成
 取締役 武藤宏之
 取締役(社外) 浦上敬一郎
 取締役(社外) 瀬尾英重
 監査役 細江秀喜
 監査役(社外) 片岡明典
 監査役(社外) 橋本渉

■株式の状況 (2022年3月31日現在)

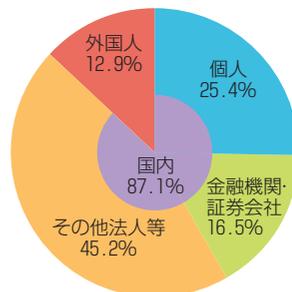
発行可能株式総数 23,912,200株
 発行済株式の総数 9,500,000株
 株主数 6,772名

大株主 (上位10位)

	持株数 (千株)	出資比率 (%)
中部電力株式会社	2,326	24.5
古河電気工業株式会社	565	5.9
TSUCHIYA株式会社	500	5.2
ピービーエイチ フォー フィデリティ ロー プライズド ストック ファンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	397	4.1
株式会社三菱UFJ銀行	312	3.2
株式会社日本カストディ銀行 (信託口4)	303	3.1
重田 康光	266	2.8
株式会社川口興産	200	2.1
光通信株式会社	186	1.9
明治安田生命保険相互会社	175	1.8

注1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
 注2. 出資比率は自己株式(4,634株)を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況



株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	6月
定時株主総会の 権利株主確定日	3月31日
期末配当金の 受領株主確定日	3月31日
中間配当金の 受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 名古屋市中区栄三丁目15番33号
照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.aichidenki.jp ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、名古屋市中において発行する中日新聞に掲載して行います。

1 単元未満株式（100株に満たない株式）の 買取・買増制度のご案内

ご所有の1単元未満株式を当社に買取または買増請求できる制度があります。ご希望の株主様は下記「各種お手続きのお申し出先」にお申し出ください。

各種お手続きのお申し出先

(お名前・ご住所の変更、単元未満株式の買取・買増等)

証券会社に口座を開設されている株主様

→ お取引先の証券会社にお申し出ください。

証券会社に口座を開設されていない株主様

→ 三井住友信託銀行にお申し出ください。

未払い配当金の支払について

三井住友信託銀行にお申し出ください。

 **愛知電機株式会社**
AICHI ELECTRIC CO., LTD.

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。